

56

【56期】NPO法人ドットジェイピー 活動報告書

2025 October — 2026 March

もくじ

●目次	P3
●団体概要	P4-5
 【インターシップ事業】	
●参加学生データ	P8
●学生意識調査	P9
●受入議員・機関・団体データ	P10
●受入議員・機関・団体一覧	P11-15
●協力大学一覧	P16
 【未来事業】	
●未来自治体全国大会2026	P18-22
●未来自治体	P23
●未来自治体リーダーシミュレーション	P24
 【その他の事業・実績】	
●メディア掲載実績	P26
●ご協賛企業一覧	P27
●書籍関連	P28

団体概要

団体概要

団体名称	特定非営利活動法人ドットジェイピー	創 業	1998年2月14日
通常表記	NPO法人ドットジェイピー	法人設立	2000年11月22日
英文表記	Dot-jp, Nonprofit Organization		

所在地

本 部	〒102-0082 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオフィス麹町304
エリア	●北海道エリア ●宮城エリア ●山形エリア ●福島エリア ●栃木エリア ●茨城エリア ●東京エリア ●神奈川エリア ●愛知エリア ●三重エリア ●新潟エリア ●福井エリア ●関西エリア ●岡山エリア ●広島エリア ●香川エリア ●福岡エリア ●大分エリア ●長崎エリア ●熊本エリア ●宮崎エリア ●鹿児島エリア

事業内容

1. インターンシップ・コーディネート事業
2. 地域活性化に関する諸フォーラム・セミナーの開催
3. 広報事業

目的

- ・大学生を主とした不特定多数の人に、衆議院議員、参議院議員並びに地方公共団体の議会の議員及び長（以下「議員」という。）、特定非営利活動法人など各種団体、行政機関および駐日外国公館などの公的団体のもとでのインターンシップを通じて実務研修を行わせ、もって社会学習の機会を付与し、社会教育の推進を図ること。
- ・国民の社会に対する興味を喚起し、もって議員選挙の投票率の向上を図ること。

前記の目的を達成するため、以下の種類の特定非営利活動を行う。

1. 社会教育の推進を図る活動
2. 情報化社会の発展を図る活動

「私もできる」を、私達がつくる。

思い込みでも、勘違いでもいい。この国を、世の中を、もっとよくしたい、その気持ちと行動さえあれば、誰だって世界を変える立役者になれる。

だから、ドットジェイピーはつくりたい。

各界のスペシャリストや仲間とつながることで、「私もできる」と思える、たくさんの瞬間を。

そして、あなたが世の中の課題を改善へと導く未来を。

期待してほしい、想像を超えていく自分に。

団体概要

代表者

佐藤 大吾(理事長)

役 員

役 員	理事 佐藤 大吾 (理事長) 理事 水谷 正美 (副理事長) 理事 村崎 浩史 理事 松永 英也 (事務局長兼任) 理事 木村 亮 (執行役員兼任) 監事 名和 道紀 (公認会計士・名和会計事務所)		大川 真司 大竹 祐登 伏見 晃一 儘田 秋水 大濱 暢祐 黒岩 大輝 前田 一帆 川原 功也 中山 智貴 小山 智加 山野 裕聖 児玉 峻太郎 津端 莉那 林田 光生 佐多 陽花
事務局長	松永 英也		
事業局長	石原田 拓郎	キャビネット	
評議員	石田 芳弘 (至学館コミュニケーション研究所 客員教授) 後 房雄 (愛知大学地域政策学部 教授) 倉田 薫 (関西大倉学園 理事長) 河内山 哲朗 (一般社団法人 日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 代表理事) 竹下 譲 (自治体議会政策学会 会長) 橋本 大二郎 (テレビ番組キャスター) 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自立政策研究所 理事長) 山内 直人 (大阪大学国際公共政策研究科 教授)		
特別顧問	与良 正男 (政治ジャーナリスト/毎日新聞専門編集委員)		
顧問	松野 豊 (一般社団法人障がい者ワークスタイル研究所 代表理事) 友田 景 (株式会社ビズデザイン大阪 代表取締役) 本田 勝裕 (キャリアソリューションリスト) 吉山 勇樹 (株式会社ハイブリットコンサルティング 代表取締役CEO)		

学生スタッフ

北海道、宮城、山形、福島、栃木、茨城、東京、神奈川、愛知、三重、新潟、福井、関西、岡山、広島、香川、福岡、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、以上22エリア合計で、約500名。
※()内は、2026年3月31日現在のものです。

ソーシャル・インターンシップ

● 明日を考える。自分を考える。 ～議員・首長インターンシップ

みんなにとって幸せな明日を。政治はそんな思いからできている。

そう、政治は特別なものではなく、すべて自分の明日につながっている。

それだけに、日々これから思い巡らせる、議員たちの熱量を体感して得るものは大きい。

自分と社会とのつながりを身をもって知る。明日のことを人まかせにしない、

考えた先に、新しい行動や挑戦が生まれる。

● 問いかける、「世界ではどうか」。 ～大使館・国際機関インターンシップ

その答えが、正解だとは限らない。「世界から見た日本」を意識したとき、

思いもしなかった答えにたどり着く。国が変われば、視点や価値も変わる。

だからこそ、世界の人々とつながり、リアルに、各国の文化や社会にふれることで、

あらためて気づかされる日本がある。

「世界ではどうか」自問するたびに、目の前の可能性も、自分の視界も広がっていく。

● 知ることから、世の中は動き出す。 ～NPO・NGOインターンシップ

紛争、子どもの貧困、地域格差 ……なぜそれらの問題は起きるのか。

理解しようとすることから、社会を変える行動がはじまる。

NPOでの経験は、自分にだって、できることがあるという手応えをもたらし、

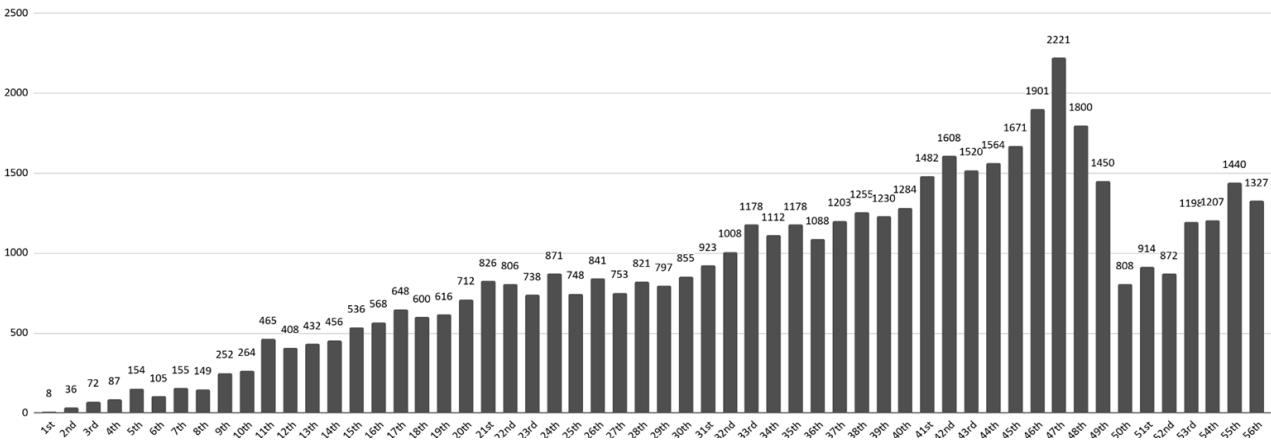
行動への背中を押す。

自分が動き出すことで、世の中は動き出す。

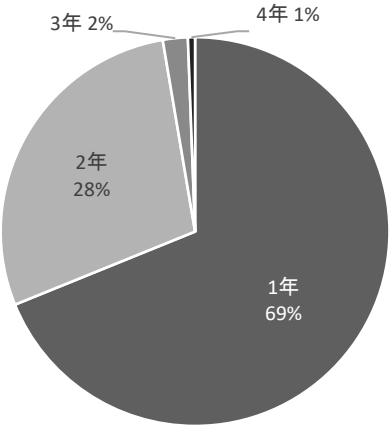
参加学生データ

第56期 参加学生数：1327名

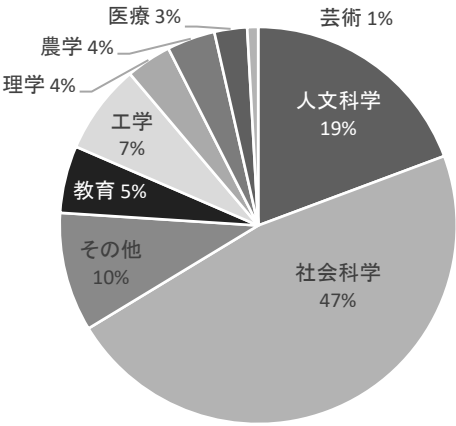
参加学生数推移



学年別参加割合



学部別参加割合



【累計】 参加学生数上位大学 * ()内の数字は、過去累計のインターンシップ参加者数

総 合

関西学院(2009) / 立命館(1881) / 同志社(1736) / 東北学院(1301) / 明治(1262) / 慶應義塾(1243) / 熊本県立(1174) / 北海学園(1127) / 中央(1062) / 南山(1040) / 早稲田(898) / 九州(856) / 関西(851) / 福島(887) / 筑波(831) / 広島(797) / 山形(767)

エ リ ア 別

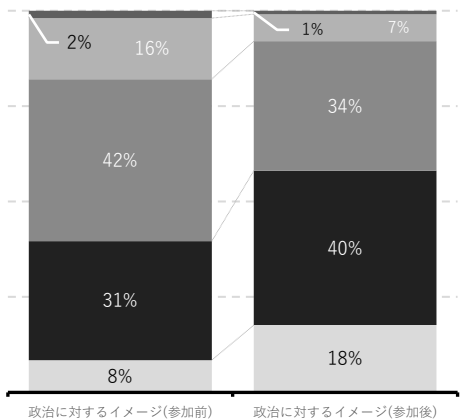
【北海道】 北海学園(1127) / 北海道(411) / 小樽商科(184) / 北星学園(160)
【東北】 東北学院(1301) / 福島(887) / 山形(767) / 東北(480) / 東北福祉(326)
【関東】 明治(1262) / 慶應義塾(1243) / 中央(1062) / 早稲田(898) / 筑波(831)
【北陸】 新潟(132) / 金沢(42) / 福井(38) / 福井県立(32)
【東海】 南山(1037) / 三重(759) / 中京(441) / 名古屋(375) / 名城(141)
【関西】 関西学院(2009) / 立命館(1881) / 同志社(1736) / 関西(851)
【中国四国】 広島(797) / 岡山(482) / 香川(394) / 広島修道(288)
【九州】 熊本県立(1174) / 九州(856) / 熊本学園(732) / 北九州市立(658)

※総合の参加者数には複数支部でのインターン参加者も含むため、支部別の参加者数との間にずれがある場合がございます。

学生意識調査

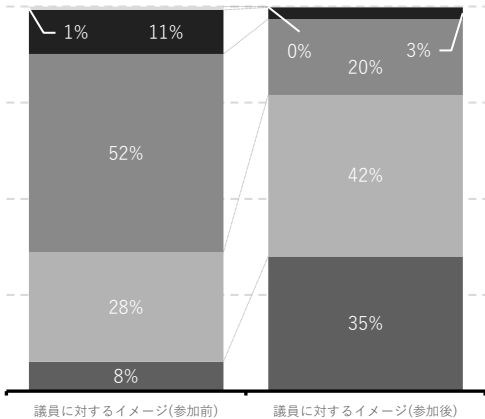
政治に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」合計が39%だが、インターンシップ参加後は58%に。



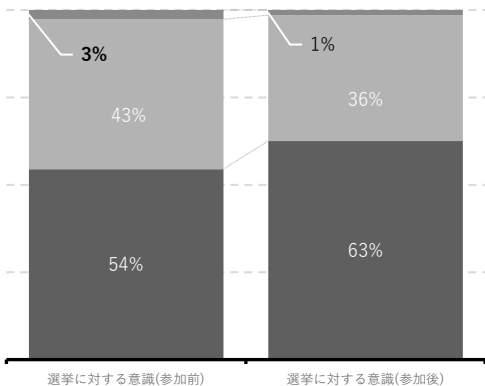
議員に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」合計が36%だが、インターンシップ参加後には77%に。



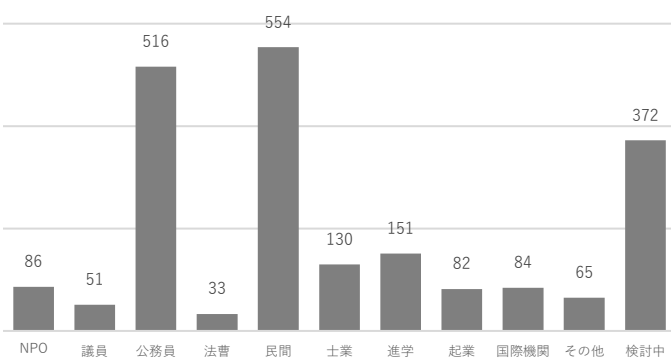
選挙に対する意識

インターンシップ参加前は「必ず選挙に行く」の比率が54%だが、インターンシップ後63%に。
インターンシップを通じて学生の選挙に対する意識が向上している。



希望進路 (※複数回答)

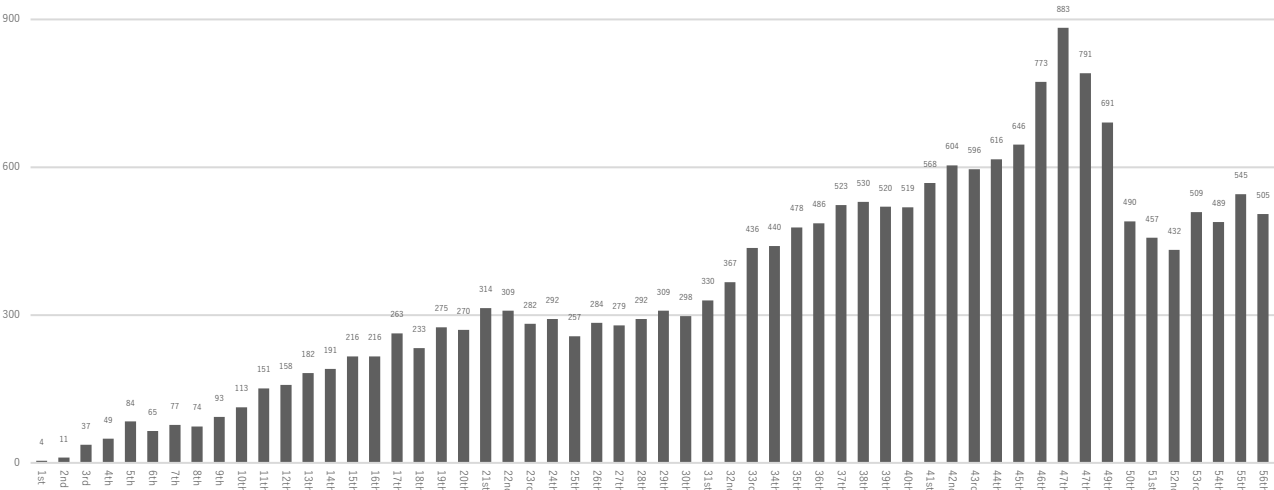
1. NPO・NGO
2. 議員
3. 公務員
4. 法曹関係（弁護士・検察官・裁判官）
5. 民間企業勤務
6. 資格業（医師・税理士など）
7. 進学・研究者
8. 起業
9. 国際機関（国連など）勤務
10. その他
11. まだ考えられてない(検討中)



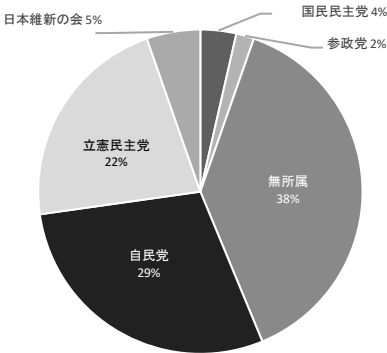
受入議員・機関・団体データ

第56期 受入議員・機関・団体数：505クライアント

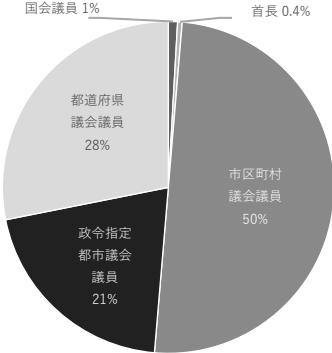
受入議員・機関・団体数推移



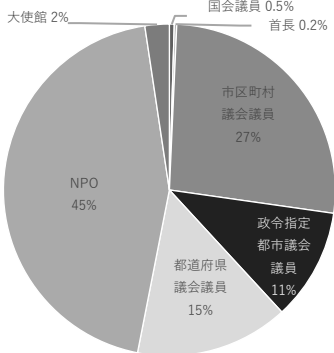
政党別受入議員（当期）



区分別受入議員（当期）



区分別全体受入（当期）



首長インターンシッププログラム一覧

ドットジェイピーでは、議員インターンシッププログラムの運営で蓄積したノウハウを生かし、議員事務所だけでなく、知事や市長、地方自治体などの業務を理解するための体験プログラムを提供しております。

過去実施首長・自治体一覧(敬称略)

梶原拓(岐阜県知事)橋本大二郎(高知県知事) / 石田芳弘(愛知県犬山市長) / 佐護 / 彰(愛知県日進市長) / 門川大作(京都府京都市長) / 倉田薫(大阪府池田市長) / 田中誠太(大阪府八尾市長) 北口寛人(兵庫県明石市長) / 白井文(兵庫県尼崎市長) / 藪本吉秀(兵庫県三木市長) / 河内山哲朗(山口県柳井市長) / 幸山政史(熊本県熊本市長) / 成澤廣修(東京都文京区長) / 山田宏(東京都杉並区長) / 井崎義治(千葉県流山市長) / 中村法道(長崎県知事) / 松崎秀樹(千葉県浦安市長) / 藤井浩人(岐阜県美濃加茂市長) / 小笠原春一(北海道登別市長) / 菅原章嗣(北海道喜茂別町長) / 熊谷俊人(千葉県千葉市長) / 小泉一成(千葉県成田市長) / 武廣勇平(佐賀県上峰町長) / 大石正行(北海道鶴居村長) / 徳永哲雄(北海道弟子屈町長) / 照井誉之介(北海道江差町長) / 宮谷内留雄(北海道蘭越町長) / 山本進(北海道東神楽町長) / 松岡市郎(北海道東川町長) / 谷一之(北海道下川町長) / 松岡隼人(熊本県人吉市長) / 秋葉就一(千葉県八千代市長) / 川上満(北海道平取町長) / 神達岳志(茨城県常総市長) / 崎田恭平(宮崎県日南市長) / 南出賢一(大阪府泉大津市長) / 越田謙治郎(兵庫県川西市長) / 佐藤弥斗(神奈川県座間市長) / 石丸伸二(広島県安芸高田市長) / 大野もとひろ(埼玉県知事) / 本村賢太郎(神奈川県相模原市長) / 樋口高顕(東京都千代田区長) / 永山由高(鹿児島県日置市長) / 上野俊市(鹿児島県さつま町) / 中田慎也(大阪府伊丹市長)

※()内は受入当時のものです。

56期全国受入議員・機関・団体一覧①

※()内は受入当時のものです

北海道	都道府県議会	松山丈史(立憲民主党) / 武田浩光(立憲民主党) / 渕上綾子(立憲民主党)
	指定都市議会	しのだ江里子(立憲民主党) / 恩村健太郎(立憲民主党) / 五十嵐徳美(自由民主党) / 三神英彦(自由民主党) / 山田一郎(自由民主党) / 山田洋聡(自由民主党) / 漆原直子(立憲民主党) / 小竹知子(自由民主党) / 川田ただひさ(自由民主党) / 村上裕子(立憲民主党) / 波田大専(日本維新の会) / 和田勝也(自由民主党)
	市区町村議会	千葉一幸(無所属)
	NPO団体	一般社団法人ヒューマンハーバー別海 / 特定非営利活動法人おーるまいてい / 特定非営利活動法人さっぽろ自由学校「遊」 / 特定非営利活動法人フードバンクイコロさっぽろ / 特定非営利活動法人手と手 / 特定非営利活動法人地域子育てネットすくさぽ / 特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター / 特定非営利活動法人北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
宮城	都道府県議会	遠藤隼人(自由民主党) / 高橋克也(自由民主党) / 村岡貴子(自由民主党)
	指定都市議会	後藤咲子(立憲民主党) / 佐々木心(自由民主党) / 千葉修平(自由民主党) / 猪股由美(立憲民主党) / 貞宗健司(立憲民主党) / 鈴木澄恵(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人COLLAWAKE / 特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク / 特定非営利活動法人フードバンク仙台 / 特定非営利活動法人メディアージ / 認定特定非営利活動法人Switch
米沢	市区町村議会	荒井拓也(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人から・ころセンター / 特定非営利活動法人ふれあいにこにこの丘 / 特定非営利活動法人西沼田サポーターズ・ネットワーク / 特定非営利活動法人赤とんぼ
福島	国会	坂本竜太郎(自由民主党)
	都道府県議会	佐藤徹哉(無所属) / 先崎温容(自由民主党) / 半沢雄助(立憲民主党)
	市区町村議会	遠藤利子(無所属) / 加藤漢太(自由民主党) / 根本雅昭(無所属) / 大木絵理(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人Lotus / 特定非営利活動法人VIDA / 特定非営利活動法人あいメッセージ / 特定非営利活動法人オハナ・おうえんじゃー / 特定非営利活動法人すかがわ子育てネットワークTUNAGU / 特定非営利活動法人広野みかんクラブ / 特定非営利活動法人寺子屋方丈舎会津 / 特定非営利活動法人青空保育たけの子 / 特定非営利活動法人トイボックス南相馬事業部
栃木	市区町村議会	横須賀咲紀(立憲民主党) / 荻部勉(無所属) / 栗原収(自由民主党) / 森智世子(立憲民主党) / 早川貴光(立憲民主党) / 長谷川武士(無所属) / 長浜成仁(無所属) / 萩谷慎一(立憲民主党) / 末吉利啓(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人アニマシオン / 特定非営利活動法人たまり場ぼぼ / 特定非営利活動法人未来ネットワークひたちなか・ま

56期全国受入議員・機関・団体一覧②

※()内は受入当時のものです

東京	国会	岡野純子(国民民主党) / 三角創太(立憲民主党) / 西村やすとし(自由民主党) / 大島敦(立憲民主党) / 長妻昭(立憲民主党) / 萩生田光一(自由民主党) / 落合貴之(立憲民主党)
	都道府県議会	伊藤隆広(自由民主党) / 漢人明子(無所属) / 関根ジロー(立憲民主党) / 後藤なみ(無所属) / 小山くにひこ / 松岡篤(無所属) / 成清梨沙子(無所属) / 滝田やすひこ(無所属) / 竹井ようこ(立憲民主党) / 中村ひろし(立憲民主党) / 内山真吾(無所属)
	市区町村議会	ひえのたかゆき(無所属) / 井上勇一郎(無所属) / 榎本あゆみ(無所属) / 菌部誠弥(無所属) / 岡田勇一郎(自由民主党) / 花澤昭信(無所属) / 久家繁(立憲民主党) / 宮原りえ(立憲民主党) / 橋本祥平(立憲民主党) / 金井洋(立憲民主党) / 原田竜馬(立憲民主党) / 山本ようすけ(無所属) / 鹿島まさお(自由民主党) / 小澤宏司(無所属) / 上田ゆきこ(無所属) / 森本せいや / 須崎貴寛(自由民主党) / 石井伸之(自由民主党) / 赤江なつ(立憲民主党) / 竹村雄尉(無所属) / 中村延子(立憲民主党) / 中島晃一郎(無所属) / 藤井まな(立憲民主党) / 八田一彦(無所属) / 堀吉彰(無所属) / 有里真穂(無所属) / 鈴木綾子(立憲民主党)
	NPO団体	一般社団法人ICAインターナショナル文化交流協会 / 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク / 公益財団法人オイスカ / 特定非営利活動法人CMC / 特定非営利活動法人JFCネットワーク / 特定非営利活動法人LOOBJAPAN / 特定非営利活動法人NICE (日本国際ワークキャンプセンター) / 特定非営利活動法人あっちこっち / 特定非営利活動法人こどもの木 / 特定非営利活動法人つばさねっと / 特定非営利活動法人ブリッジエーシアジャパン / 特定非営利活動法人環境持続社会研究センターJACESSES / 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会 / 特定非営利活動法人湘南市民メディアネットワーク / 特定非営利活動法人東京コミュニティスクール / 特定非営利活動法人遊び・文化NPO小金井こらぼ / 認定特定非営利活動法人JUONNETWORK / 認定特定非営利活動法人エンパワメントかながわ / 認定特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN / 認定特定非営利活動法人原子力資料情報室 / 認定特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド / 認定特定非営利活動法人世界の子どものにワクチンを日本委員会
	グローバル	コソボ共和国大使館 / コロンビア大使館通商部 / ブランドUSA日本事務所 / メキシコ合衆国大使館 / モナコ政府観光会議局日本事務所 / 在日イタリア商工会議所 / 在日ポーランド商工会議所 / 駐日エルサルバドル共和国大使館
神奈川	国会	永田磨梨奈(自由民主党) / 早稲田夕季(立憲民主党)
	都道府県議会	須田こうへい(立憲民主党) / 菅原あきひと(立憲民主党) / 飯野まさたけ(立憲民主党)
	指定都市議会	黒川勝(自由民主党) / 青木のりお(自由民主党) / 風間あさみ(立憲民主党)
	市区町村議会	小谷英次郎(立憲民主党) / 堀遼一(無所属)
	首長	本村賢太郎(無所属)
静岡	国会	田中健(国民民主党)
	都道府県議会	菅沼泰久(無所属) / 田口章(無所属) / 伴卓(無所属)
	指定都市議会	松谷清(無所属) / 鈴木恵(無所属)
	市区町村議会	石井真人(無所属) / 川島美希子(無所属) / 本間雄次郎(無所属)
	NPO団体	NPO法人クロスメディア / 公益財団法人ふじのくに未来財団 / 特定非営利活動法人静岡FIDサッカー連盟 / 認定NPO法人時ノ寿の森クラブ
愛知	都道府県議会	河合洋介(立憲民主党) / 富田昭雄(国民民主党) / 福田喜夫(国民民主党) / 和田直也(自由民主党)
	指定都市議会	神ひろし(自由民主党) / 大島英勲(日本維新の会) / 飯尾祐介(無所属)
	市区町村議会	安村亮 / 山田久美(無所属) / 舟橋よしえ(無所属) / 須場康貴(日本維新の会) / 白井えり子(無所属) / 美濃島絢太(無所属) / 毛利尚義(日本維新の会)
	NPO団体	特定非営利活動法人アスクネット / 特定非営利活動法人子育て支援のNPOまめっこ / 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

56期全国受入議員・機関・団体一覧③

※()内は受入当時のものです

三重	都道府県議会	中瀬古初美(無所属)
	市区町村議会	岩脇圭一(立憲民主党) / 森遥香(無所属) / 水谷一未(無所属) / 渡辺仁美(無所属) / 保田勝平(自由民主党)
新潟	指定都市議会	伊藤健太郎(自由民主党) / 幸田健太(無所属) / 小柳聡(無所属) / 深谷成信(日本維新の会) / 東村里恵子(無所属) / 内山航(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人Lily & Marry'S / 特定非営利活動法人ディンプルアイランド
石川	国会	小森卓郎(自由民主党)
	市区町村議会	江西照康(自由民主党) / 高務淳弘(参政党) / 米山立子(無所属)
福井	国会	滝波宏文(自由民主党)
	都道府県議会	三宅中(無所属) / 山岸充 / 中村綾菜(無所属) / 渡辺大輔(無所属)
関西	国会	前原誠司(日本維新の会)
	都道府県議会	なかい隆晃(日本維新の会) / 河村浩史(日本維新の会) / 駒井千代(無所属) / 山田健太(立憲民主党) / 須田旭(自由民主党) / 西條利洋(日本維新の会) / 中田英一(立憲民主党) / 道端俊彦(自由民主党) / 野々上愛(立憲民主党)
	指定都市議会	あわはら富夫(無所属) / かじ幸夫(立憲民主党) / 宇佐美賢一(日本維新の会) / 河村諒(無所属) / 江村理紗(無所属) / 西哲史(無所属) / 片桐直哉(立憲民主党) / 淵上猛志(無所属) / 諫山大介(無所属)
	市区町村議会	たかのしん(無所属) / 井上信久(無所属) / 吉村だいき(参政党) / 今井りか(立憲民主党) / 今泉ゆうた(日本維新の会) / 坂口雄太(無所属) / 松岡信道(無所属) / 森本信之(立憲民主党) / 中山ゆうすけ(日本維新の会) / 渡辺けんじろう(日本維新の会) / 富田達也(無所属) / 片岡真(参政党) / 木曾拓朗(日本維新の会)
	NPO団体	一般社団法人くじら雲 / 一般社団法人フリンジシアターアソシエーション / 公益財団法人大阪国際交流センター / 特定非営利活動法人BIWAKOSPORTSCLUB / 特定非営利活動法人Co.to.hana / 特定非営利活動法人CPAO / 特定非営利活動法人greengrass / 特定非営利活動法人happiness / 特定非営利活動法人LIC / 特定非営利活動法人Reframe / 特定非営利活動法人SEEDSAsia / 特定非営利活動法人SportsKidsStation / 特定非営利活動法人YASUほほえみクラブ 特定非営利活動法人アバンセ / 特定非営利活動法人あぼしまちコミュニケーション / 特定非営利活動法人あまがさき環境オープンカレッジ / 特定非営利活動法人イー・ビーイング / 特定非営利活動法人いごっそう / 特定非営利活動法人うだ夢創の里 / 特定非営利活動法人おくちのけんこう / 特定非営利活動法人おひさまひろば / 特定非営利活動法人グローアップ / 特定非営利活動法人ここ / 特定非営利活動法人こころのはな / 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 (京都消団連) / 特定非営利活動法人ジョイフル / 特定非営利活動法人チャイルドドクター・ジャパン / 特定非営利活動法人ハーモニーきょうと / 特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山 / 特定非営利活動法人びよびよ会 / 特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 / 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター / 特定非営利活動法人フライパン / 特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた / 特定非営利活動法人まちづくりスポット大津 / 特定非営利活動法人ムーブメント / 特定非営利活動法人やんちゃんこ / 特定非営利活動法人レイバース松原本校 / 特定非営利活動法人ロジカ・アカデミー / 特定非営利活動法人愛のまちエコ倶楽部 / 特定非営利活動法人音の風 / 特定非営利活動法人学遊 / 特定非営利活動法人気候ネットワーク京都事務所 / 特定非営利活動法人京都発・竹・流域環境ネット / 特定非営利活動法人市民活動サークルえん / 特定非営利活動法人場とつながりの研究センター / 特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ / 特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 / 特定非営利活動法人神戸西助け合いネットワーク / 特定非営利活動法人青少年自立援助センターブルーム / 特定非営利活動法人地域の家 / 特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone / 特定非営利活動法人琵琶湖ローイングCLUB / 特定非営利活動法人放課後遊ぼう会 / 特定非営利活動法人北摂こども文化協会 / 特定非営利活動法人夢コネクト / 特定非営利活動法人明日の京都文化遺産プラットフォーム / 特定非営利活動法人木野環境 / 特定非営利活動法人コミュニティ・スペースsacula / 特定非営利活動法人なごみ / 特定非営利活動法人全国学童野球振興協会 / 認定特定非営利活動法人トゥギャザー / 認定特定非営利活動法人びわこ豊穡の郷 / 認定特定非営利活動法人加茂女
	グローバル	フィリピン政府観光省大阪事務所 / 日本アゼルバイジャン商工会議所 (関西)

56期全国受入議員・機関・団体一覧 ④

※()内は受入当時のものです

岡山	都道府県議会	鈴木一史(立憲民主党) / 高橋徹(国民民主党)
	指定都市議会	川本浩一郎(自由民主党)
	市区町村議会	中西公仁(無所属) / 藤井昭佐(無所属)
広島	国会	寺田稔(自由民主党) / 新谷正義(自由民主党) / 鍋島勢理(国民民主党)
	都道府県議会	伊藤英治(自由民主党) / 柿本忠則(無所属) / 桑木良典(無所属) / 恵飛須圭二(自由民主党) / 高田稔(無所属) / 村上栄二(無所属) / 中野泰誠(無所属) / 八幡原圭(自由民主党) / 福知基弘(無所属)
	指定都市議会	松本拓也(無所属) / 川口茂博(無所属)
	市区町村議会	岡雄也(自由民主党) / 貝原大和(無所属) / 岩崎和仁(無所属) / 喜田紘平(無所属) / 今田佳男(無所属) / 山田学(参政党) / 小池恵美子(無所属) / 森川亜紀(自由民主党) / 正田洋一(無所属) / 千葉真一(無所属) / 片山貴志(無所属) / 木村輝江(無所属) / 鈴木英士(無所属)
	NPO団体	一般社団法人国連ユニタール協会 / 社会福祉法人ライフケア高砂 (広島) / 特定非営利活動法人あいびい / 特定非営利活動法人アニマルセラビー協会 / 特定非営利活動法人こどもステーション / 特定非営利活動法人これからの学びネットワーク / 特定非営利活動法人どりいむスイッチ / 特定非営利活動法人ひろしま自然学校 / 特定非営利活動法人プラットフォーム・おのみち / 特定非営利活動法人呉こどもNPOセンターYYY / 特定非営利活動法人尾道空き家再生プロジェクト
香川	都道府県議会	五味伸亮(国民民主党) / 植田真紀(無所属) / 仁木啓人(無所属)
	市区町村議会	三好東曜(無所属) / 山口大輔(国民民主党) / 若谷修治(無所属) / 森本聖子(自由民主党) / 田村充(無所属)
	NPO団体	公益財団法人オイスカ四国支部 / 特定非営利活動法人アーキベラゴ / 認定特定非営利活動法人さぬきっずコムシアター
山口	都道府県議会	牛見航(自由民主党) / 大内一也(国民民主党)
	市区町村議会	安河内淳朗(無所属) / 伊場勇(無所属)
	NPO団体	NPO法人あっと / NPO法人ほほえみの郷トイトイ / 社会福祉法人ライフケア高砂 (山口)
福岡	国会	鬼木誠(自由民主党)
	都道府県議会	原中誠志(国民民主党) / 青木一功(自由民主党)
	指定都市議会	井上麻衣(国民民主党) / 田中しんすけ(立憲民主党)
	NPO団体	公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡 / 特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク
北九州	指定都市議会	井上しんご(無所属) / 宇都宮亮(国民民主党) / 菊地公平(自由民主党) / 山田大輔(立憲民主党)
	市区町村議会	上野崇之(立憲民主党)
	NPO団体	NPO法人はるかぜ / 特定非営利活動法人ScuoladeiBambini / 特定非営利活動法人サンシャインフォーラム福岡 / 特定非営利活動法人シュタイナー&モンテッソーリー・アカデミー / 特定非営利活動法人ドッグセラピージャパン / 特定非営利活動法人わくわく / 特定非営利活動法人下関子ども・子育てネット
大分	都道府県議会	御手洗朋宏(立憲民主党)
	市区町村議会	安部一郎(自由民主党) / 泉武弘(無所属) / 野上恵子(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人おおいたNPOデザインセンター / 認定特定非営利活動法人地域の宝育成支援センター

56期全国受入議員・機関・団体一覧⑤

※()内は受入当時のものです

長崎	国会	山本啓介(自由民主党)
	都道府県議会	山村健志(自由民主党) / 前田哲也(自由民主党) / 大久保堅太(自由民主党) / 湊亮太(自由民主党)
	市区町村議会	永田秀人(社会民主党) / 柿田正(無所属) / 高橋佳子(無所属) / 酒井晋介(自由民主党) / 森恭平(無所属) / 青山昭広(無所属) / 浅田真五(無所属) / 竹田雄亮(自由民主党) / 田山藤丸(自由民主党) / 都留かすみ(無所属) / 平たけし(無所属) / 本田順也(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人ラポール諫早 / 特定非営利活動法人環境カウンセリング協会長崎 / 特定非営利活動法人元気っ子クラブファイト / 特定非営利活動法人心澄
熊本	都道府県議会	岩田智子(無所属) / 橋口海平(自由民主党) / 斎藤陽子(自由民主党) / 坂梨剛昭(自由民主党) / 杉嶋ミカ(自由民主党) / 竹崎和虎(自由民主党) / 立山大二郎(自由民主党) / 洲上陽一(自由民主党)
	指定都市議会	菊地渚沙(無所属) / 山中惣一郎(無所属) / 山本浩之(自由民主党) / 瀬尾誠一(無所属) / 田中敦朗(自由民主党) / 北川哉(自由民主党)
	市区町村議会	今中真之助(無所属) / 三角隆史(無所属) / 山本敬晃(無所属) / 中元緑(無所属)
	NPO団体	NPO法人スポーツコミュニティ熊本 / 特定非営利活動法人NCK / 特定非営利活動法人NEXTTEP / 特定非営利活動法人NPO子どもサポート・みんなのおうち / 特定非営利活動法人アイ・ネットワークくまもと / 特定非営利活動法人えん / 特定非営利活動法人くまもと未来ネット / 特定非営利活動法人スポレク・エイト / 特定非営利活動法人ひかるつめくさ / 特定非営利活動法人みらいけあ / 特定非営利活動法人もやいの丘 / 特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクト / 特定非営利活動法人熊本福祉会 / 特定非営利活動法人在宅就労支援事業団 / 特定非営利活動法人桜木ふれあいスポーツクラブ / 特定非営利活動法人山風華 / 特定非営利活動法人子育て支援ワーカーズベベベべらん / 特定非営利活動法人子育て談話室
宮崎	国会	渡辺創(立憲民主党)
	都道府県議会	下沖篤史(自由民主党) / 河野通博(無所属) / 山口俊樹(無所属) / 山内一徳(自由民主党) / 川添博(自由民主党) / 福田新一(自由民主党) / 本田利弘(自由民主党) / 脇谷のりこ(無所属)
	市区町村議会	岩津良(無所属) / 黒田奈々(立憲民主党) / 三輪邦彦(無所属) / 柴浩信(無所属) / 徳重淳一(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人エンゼルランブ育の会 / 特定非営利活動法人みやざきAreaActivityAcademy / 特定非営利活動法人ライフカンパニー新富 / 特定非営利活動法人都城大淀川サミット
鹿児島	都道府県議会	伊藤浩樹(自由民主党) / 宇都恵子(立憲民主党) / 岩重あや(自由民主党) / 柴立鉄平(自由民主党) / 藤崎剛(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人あんじゅりあん / 特定非営利活動法人チャトン / 特定非営利活動法人桜島ミュージアム / 認定特定非営利活動法人かごしまアートネットワーク
沖縄	都道府県議会	儀保唯(無所属)
	市区町村議会	嘉手川航汰(無所属) / 嘉陽宗一郎(無所属) / 儀間駿太郎(自由民主党) / 大城つばさ(自由民主党)

協力大学一覧

議員インターンシップの普及促進のために、各地の大学から、単位認定や告知（ビラ配布許可、ポスター掲示許可、授業での告知など）などでご協力をいただいております。

【単位認定】

▼北海道

北海学園大学 法学部
札幌学院大学 法学部
小樽商科大学

▼関東

國學院大学 法学部
法律学科政治専攻
目白大学 メディア学部

東洋学園大学 キャリアセンター
※単位認定講座にて紹介

▼関西

関西学院大学 法学部
大和大学 社会学部 政治経済学部

▼中国

広島大学 法学部
広島市立大学 キャリアセンター

▼福岡

九州産業大学 商学部

※認定の手続きについては、各大学に直接、お問い合わせください。

【告知協力】

▼北海道

北海学園大学 法学部
小樽商科大学
北海学園大学
北海道大学
北星学園大学

▼関東

東洋学園大学 キャリアセンター
目白大学 メディア学部

▼関西

関西学院大学 法学部

▼中国

広島大学 法学部
福山市立大学 都市経営学部



未来事業

国家予算をあなたがつくる。

未来国会

若者による国家デザインコンテスト

地域の未来をあなたがつくる。

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

『日本が終わってるなんて誰が決めた』

未来事業では「未来自治体」と「未来国会」を運営しております。

時代を担う若者（主に大学生）が、

「未来国会」では “もし自分が総理大臣だったら国家予算をどのように作るか？”、

「未来自治体」では “もし自分が首長だったら自治体予算をどのように作るか？”、

というテーマで未来の国家や自治体のビジョンを掲げ、政策・予算にまで落とし込み、

「若者らしい、斬新かつ現実性を備えた夢」をコンテスト形式で競い合う提案型プログラムです。

未来自治体全国大会2026

未来自治体
全国大会2026

■開催概要

- ・催事名 : 未来自治体全国大会2026
- ・開催期間 : 2026年2月～3月
- ・エントリー : 30歳以下の若者約1200名/480チーム
- ・開催場所 : ベルサール新宿グランドRoom E+F会議室にて対面開催
- ・観覧者 : 観覧者約300名

■全国決勝大会ゲスト(敬称略)



坂本竜太郎氏
衆議院議員
自由民主党青年局学生部長



落合貴之氏氏
衆議院議員
中道改革連合 政務調査会長代行

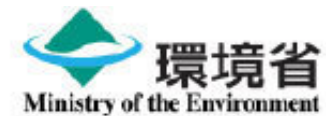
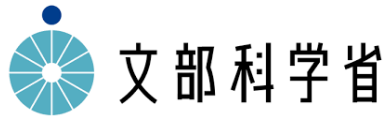


与良正男氏
政治ジャーナリスト
毎日新聞客員編集委員
NPO法人ドットジェイビー
特別顧問



田幸大輔氏
政策分析ネットワーク事務局長/
政策メディア編集長

■後援



未来自治体全国大会2026

未来自治体
全国大会2026

■参加者所属大学

東北学院大学・福島大学・茨城大学・東洋大学・早稲田大学・東京大学
明治大学・日本大学・専修大学・三重大学・中京大学・立命館大学・関西大学・関西学院大学・広島大学
・香川大学・九州大学・長崎県立大学・熊本県立大学・宮崎公立大学・鹿児島大学 など

■未来自治体全国大会2026 優勝【チーム LINK LAB】 プラン1-4

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
政策立案まとめ(目次) チームのビジョン・施策・予算をまとめるシートです。 書くべき内容について、ノートに記述の注意をご確認ください。	
30年後の理想像	ビジョン 若者が高松に住んでいなくても関わり続け、継続的につながり続けられる街にしたい。
現状	問題(課題と現状のギャップ) 県内外の就職層の若者が高松と関わる機会が少ない 若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが弱い 関係人口が急増・定着しにくい
本年	問題解決のための打ち手をいつのよう実行するか(ロードマップ) 問題① 問題② 問題③
10年後	問題① 問題② 問題③
20年後	問題① 問題② 問題③
30年後	問題① 問題② 問題③
重点政策①	重点政策② 重点政策③
施策の効果	施策の効果 施策の効果
予算	予算 予算 予算

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
離れても、また繋がる。 参照: テキストブックP26-53	
ビジョン 30年後のまちのビジョン(=最も見たい未来)を教えてください。	
30年後の高松を若者が住んでいなくても関わり続け、継続的につながり続けられる街にしたい。	
より細かく表現すれば、人口減少傾向が見られる自治体によくみられる 人口を奪い合う・追い込む現状 を打破したい。現代においても自治体は子供の支援や若者の定着化、Uターン増加の施策に打ち出し、その結果として人口獲得競争は非常に激しい現状である。そこで私たちは高松を、その競争の中で人口を奪い合うような街ではなく、 人がつながり、遊び合う街 として存在するような街を作りたいというビジョンを掲げた。	
もちろん、若者が地域に残り、地元で生活できる環境を整えることは重要である。しかし、日本全体の人口が大きく増加しない中で、自治体同士が定住人口を奪い合えば、必ずどこかの地域が衰退する構造は避けられない。	
高松市ですでに関係人口創出に向けた取組が進められている。しかし、その多くは大都市圏在住の社会人層を対象とした施策であり、地域を離れた直前・直後や就職期の若者を主軸とした継続的な仕組みは十分とは言えない。本ビジョンは、既存施策を否定するものではなく、それらを土台としながら、若年層に特化した関係人口の人口と育成ルートを構築する点に特徴がある。本ビジョンの構想は具体的に言えば、まず県内外から若者が短期・中期の滞在に繋がり、その後高松に定住や就職していかなくてもそのほかの方法で関わりつづける。第3の拠点をとしてタマツを位置付けている。つまり、街に住み続け長期的に関わる定住人口や、観光などで短期的に関わる交流人口とは異なる中期的な関わりを指す 関係人口 の創出である。関係人口の関わり先となる自治体は一つに限られず、複数の自治体と関わることも可能である。さらに、自治体を超えて関係人口同士が繋がる仕組みも構想できる。	
関係人口の形は一つに限らず、オンラインコミュニティ、二拠点居住、インターンや副業、定期的なイベント参加など、多様な関わり方が可能である。また、複数の自治体と関係を持つ人々が連携することで、新たな地域間ネットワークの形成も期待できる。	
本ビジョンにおける最大の特長は、若者の流出を止めることや外の若者を留めることを前提としない点にある。人口減少社会において重要なのは、定住ではなく人の循環である。だから私たち高松は、 高松を離れても戻れる街ではなく、離れてもつながり続けられる街 にしたい。	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
問題2 参照: テキストブックP54-69	
1. 30年後の理想のまちを実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしよう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題を考えよう。	
若者が高松から離れた後、継続的なつながりが維持されないという問題がある。	
2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。	
本ビジョンでは、地元若者、関わりがあった若者が進学や就職で一度地域を離れても、高松と継続的につながり続けられるまちの実現を目指している。しかし現状では、多くの若者が県外へ進学・就職した後、高松との関係が希薄化し、そのまま失われる傾向が強い。	
その結果、若者が地域と関わり続ける仕組みが十分に機能しておらず、関係人口の継続的な創出につなげられないという問題が生じている。	
この問題には主に3つの原因がある 原因①: 若者の県外流出が構造的に進んでいる 高松市および香川県では、進学や就職を機に多くの若者が県外へ流出している。年齢別転入増減のデータからも、20代を中心とした転出超過が続いていることが確認できる。また、県内高校生の県内進学率が低く、県外進学率の比率が就職率も低いことから、一度県外に出た若者が戻りにくい構造となっている。	
原因②: 失学若年層を対象とした継続的な関係維持制度が不足している 高松市では関係人口創出に向けた取組が行われているが、その多くは社会人や都市圏在住者を主な対象としている。そのため、大学生や就職期の若者を対象とした継続的な関係維持の仕組みは十分に整備されていない。結果として、地域を離れた直前・直後の若者との接点が途切れやすくなる。	
原因③: 若者と地域・企業をつなぐ機会が少ない 県内大学・短期大学・高専生の就職状況を見ると、県外企業への就職割合が高い傾向にある。これは、在学中に地元企業や地域と関わる機会が十分でないことが一因であると考えられる。そのため、若者が高松で働くイメージを持ちにくく、地域への関心も低下しやすい。	
この問題によって 若者・地元との接点の切れ、自治体・若者との長期的な関係性を蓄積できない	
参考文献: 『たまたま人口ビジョン』 https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/turashishonokumi/keikaku/soudai/linkvision/index_files/zinkou.pdf 『学校基本調査』 https://www.mext.go.jp/content/20251225_mdx_chousa01_000044291_01.pdf 『高松市地価調査』 ・高松市作成資料、『高松市における関係人口創出: 拡大について』	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
問題1 参照: テキストブックP54-69	
1. 30年後の理想のまちを実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしよう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題を考えよう。	
県内外の就職層の若者が高松と関わる機会が少ない問題がある	
2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。	
本ビジョンでは、大学生が地域と企業と関わりながら、自身のキャリア形成と地域との関係を同時に築ける状態を目指している。しかし現状では、在学中や就職初期において地元企業と継続的に関係を保つ機会が限られており、一時的な接点にとどまっている。その結果、若者と企業との関係が発展せず、関係人口としての広がりにもつなげられない。	
この問題の原因について企業側、大学生側、制度側の三方向から検討していきたい。	
原因①: 中堅企業にとって受け入れの負担が大きいこと 多くの中小企業にとって、インターンや副業人材の受け入れには、業務設計、指導、管理などの負担が伴う。そのため、人手やノウハウが不足している中小企業ほど、若者との連携に踏み出しにくい状況にある。このことは文部科学省・経済産業省・厚生労働省の『インターンシップ推進にあたっての基本的考え方』からも明らかである。	
原因②: 大学生にとって参加ハードルが高い(軽いつき勞力が必要) 長期インターンや現地就労は、学業や就職活動、生活との両立が難しく、時間的・経済的負担が大きい。そのため、地域や企業に関心があっても、継続的な参加に踏み出せない若者が多い。	
原因③: 若者と企業の繋がりがないこと 若者の関心・スキルと、企業のニーズを適切に調整・仲介する仕組みが十分に整備されていない。そのため、マッチングが個別・偶発的に限られ、継続的な関係構築につなげにくい。	
参考文献: 高松市作成資料、『高松市における関係人口創出: 拡大について』 ・文部科学省、経済産業省、厚生労働省(三省合意)『インターンシップの推進にあたっての基本的考え方』 https://www.mext.go.jp/content/20210125_mdx_sseimon22_000012347_11.pdf	

未来自治体全国大会2026

未来自治体
全国大会2026

■未来自治体全国大会2026 優勝【チーム LINK LAB】 プラン2-4

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
問題3	参照:テキストブックF54-69
1. 30年後の理想のまちを実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。 ※問題とは、「理想と現実の乖離」のことです。 理想を達成するために、今の日本が解決すべき問題と考えましょう。	
関係人口が若者に発展・定着しにくいという問題がある。	
2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。 本ビジョンでは、若者が地域と中期的・長期的に関わり続けられる状態を目指している。しかし現状では、関係人口として地域と関わる機会が単発的なイベントや短期参加にとどまり、その後の継続的な関係につながっていない。結果として、関心はあるが関わり続けられない状態が生まれている。 高松市では、関係人口創出の取組として、オンラインファンコミュニティ「YOKKE高松」の運営など、民間と連携した柔軟な施策が展開されている。YOKKE高松では、参加者の自主的な企画が実際のイベントとして実施されるなど、自由度の高い運営が行われており、関係人口の掘り起こしに一定の成果を上げている。しかし、参加者の多くは自立した社会人層かつ東京圏在住者がターゲットであり、大学生や就職期の若者が継続的に関わりやすい仕組みには十分対応できていない側面もある。 原因①:既存の柔軟な運営基盤が若年層向けに最適化されていない 高松市の関係人口施策は、民間委託等により柔軟に運営されており、参加者の自主的な企画が実際の事業につながるなど、高い自由度を持っている。一方で、その運営体制は主に自立した社会人層を想定して構築されており、大学生や就職期の若者にとって参加・継続しやすい設計には十分対応できていない。その結果、若年層が関係を探求するための段階的な仕組みが不足している。 原因③:成果や成長が可視化されていない 継続参加による変化や貢献が本人にも地域にも見えにくく、達成感や帰属意識が生まれにくい。 参考文献:高松市作成資料、『高松市における関係人口創出・拡大について』	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
打ち手3	参照:テキストブックF70-80
認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根拠予防の3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)	
問題③:大学生が仕事を通して関係を持つ選択肢が不足しているという問題がある。	
認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根拠予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。	
認知拡大 ・ふるさと住民登録と連動した学生募集 ・大学キャリアセンター連携	
支援活動 ・企業課題登録制度 ・オンライン短期インターン	
根拠予防 ・学生と企業の自動マッチングシステム	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
打ち手1	参照:テキストブックF70-80
認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根拠予防の3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)	
問題①:若者が地域を離れた後、高松との継続的なつながりが維持されていないという問題がある。	
認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根拠予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。	
認知拡大 ・インターン体験者の発信	
支援活動 ・外部社員制度 ・月5時間副業	
根拠予防 ・関係人口スコア ・デジタルスキル証明書	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
打ち手2	参照:テキストブックF70-80
認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根拠予防の3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書きましょう。(すべての視点を考える必要はありませんが、できるだけ多面的に考えましょう。)	
問題②:関係人口が発展・定着しにくいという問題がある。	
認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根拠予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み、また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。	
認知拡大 ・学生コミュニティ発信	
支援活動 ・若者運営コミュニティ	
根拠予防 ・学生リクルート循環構造	

未来自治体全国大会2026

未来自治体
全国大会2026

■未来自治体全国大会2026 優勝【チーム LINK LAB】 プラン3-4

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
重点政策1	参照:テキストブックF81-93
STAY-LINK 本シートのP7~9で考えた認知拡大・支援活動・根治予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させましょう。 目的:進学・就職により県外を離れた若者と地域とのつながりを継続的に維持し、「離れても関わり続けられる」関係人口の基盤を構築する。 対象:・香川大学・高専・専門学校等に在籍する学生 ・就職や進学により県外へ転出する 18~25歳程度の若者 ・卒業後5年以内の若年社会人 主体:・高松市(企業) ・民間運営事業者(運営広報・コミュニティ管理) ・大学・教育機関(連携・周知) 期間:・短期(1から3年)制度設計・試験運用 ・中期(4から10年)本格運用・対象拡大 ・長期(10年以上)自治体・地域策連携へ 制作内容:①・インターン終了後コミュニティへの自動参加制度 ・学生・企業交流コミュニティの運営 ・外部社員制度の導入(学生副業モデル) ・短時間副業・プロジェクト参加制度 ・関係人口スコア制度の導入 ・デジタルスキル証明書との連携 ・学生・企業の継続マッチング機能 懸念対策:対策①(形態化対策)・参加レベル制度の導入・ポイント・バッジ制度・定期的な個別対策 対策②(情報管理対策)・外部民間事業者への委託・情報管理・定期監視 対策③(マンネリ対策)・若者運営メンバーの参画・企画を公募する・定期的な内容見直し	
社会的インパクト(政策の効果) 政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましょう。 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましょう。 例)政策によって、誰の生活がどのように変わる (フィールド・ラーニング政策の実施・自然保護の重要性を理解する→自然を守りたいという意識) ・若者の生活の変化が卒業時に登録制度を設けるオンラインで地元とつながる→的に関与・地元が消えない選択肢になる ・若手社会人の働き方が都市か地元か→両立 ・地域社会若者の流出が損失だった若者の流出が関係の拡張へ	

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
重点政策3	参照:テキストブックF81-93
WORK-LINK 本シートのP7~9で考えた認知拡大・支援活動・根治予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させましょう。 目的:インターンや副業などの就労機会を通じて、県外を含む学生が地域企業の継続的な関係を構築し、高松との関係を実証的に強化させる。 対象:・県内、県外在住の学生・若年社会人 ・若者との連携に関心のある市内中小企業 主体:・高松市(制度設計・全体統括) ・民間運営事業者(マッチング・運営) ・職工会連合・業界団体(企業連携) ・大学・キャリアセンター(学生募集協力) 期間:・短期(1から3年)制度設計・試験運用 ・中期(4~10年)本格展開・対象拡大 ・長期(10年以上)常態化・自立化 政策内容:・企業課題登録制度の導入 ・学生プロフィール登録制度 ・自動マッチングシステムの構築 ・超軽量オンラインインターン制度の導入 ・企業生入支援体制の整備 ・デジタルスキル証明書の発行 ・ふるさと住民登録との連携 懸念対策対策①(負担対策)・市による業務設計支援・事務代行・マニュアル整備 対策②学生対策・事前研修の実施・しブニー制度導入 対策③(継続対策)・LINK制度との自動接続・継続参加優遇制度・長期案件優先枠設定	
社会的インパクト(政策の効果) 政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましょう。 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましょう。 例)政策によって、誰の生活がどのように変わる (フィールド・ラーニング政策の実施・自然保護の重要性を理解する→自然を守りたいという意識) ビズ・LINKタカマリにより、県外在住の学生が地域企業と仕事を通じて関係を持つことが一般化する。これにより、高松との関係は一時的な関係から、実証的・継続的な関係へと発展する。10年後には、県外在住でおりながら地域企業と関与する若者ネットワークが形成され、関係人口と産業振興が連動する新たな地域モデルが確立される。	

エリア	チーム名																				
香川	LINK LAB																				
ロードマップ	参照:テキストブックP70-80																				
ロードマップは問題解決までの道筋を示したものです。 本シートのP7~P9で決めた問題への解決策を、実施すべき順番、実施できるタイミングに沿って時系列に並べてみましょう。 また各打ち手を実施して、10~20~30年後にどのような社会を目指したいか書きましょう。																					
現在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>問題1</th> <th>問題2</th> <th>問題3</th> <th>各時期の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない</td> <td>若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない</td> <td>関係人口が定着・発展しない</td> <td>関係人口について認識を広げる</td> </tr> <tr> <td>10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える</td> <td>リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。</td> <td>卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。</td> <td>各制度の確立</td> </tr> <tr> <td>20年後</td> <td>学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。</td> <td>県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。</td> <td>各制度が相互作用する</td> </tr> <tr> <td>30年後</td> <td>高松モデルが全国展開される。</td> <td>離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。</td> <td>循環型関係人口モデルの確立</td> </tr> </tbody> </table>	問題1	問題2	問題3	各時期の目標	県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない	若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない	関係人口が定着・発展しない	関係人口について認識を広げる	10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える	リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。	卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。	各制度の確立	20年後	学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。	県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。	各制度が相互作用する	30年後	高松モデルが全国展開される。	離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。	循環型関係人口モデルの確立
問題1	問題2	問題3	各時期の目標																		
県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない	若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない	関係人口が定着・発展しない	関係人口について認識を広げる																		
10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える	リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。	卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。	各制度の確立																		
20年後	学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。	県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。	各制度が相互作用する																		
30年後	高松モデルが全国展開される。	離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。	循環型関係人口モデルの確立																		

エリア	チーム名																				
香川	LINK LAB																				
ロードマップ	参照:テキストブックP70-80																				
ロードマップは問題解決までの道筋を示したものです。 本シートのP7~P9で決めた問題への解決策を、実施すべき順番、実施できるタイミングに沿って時系列に並べてみましょう。 また各打ち手を実施して、10~20~30年後にどのような社会を目指したいか書きましょう。																					
現在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>問題1</th> <th>問題2</th> <th>問題3</th> <th>各時期の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない</td> <td>若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない</td> <td>関係人口が定着・発展しない</td> <td>関係人口について認識を広げる</td> </tr> <tr> <td>10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える</td> <td>リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。</td> <td>卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。</td> <td>各制度の確立</td> </tr> <tr> <td>20年後</td> <td>学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。</td> <td>県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。</td> <td>各制度が相互作用する</td> </tr> <tr> <td>30年後</td> <td>高松モデルが全国展開される。</td> <td>離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。</td> <td>循環型関係人口モデルの確立</td> </tr> </tbody> </table>	問題1	問題2	問題3	各時期の目標	県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない	若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない	関係人口が定着・発展しない	関係人口について認識を広げる	10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える	リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。	卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。	各制度の確立	20年後	学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。	県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。	各制度が相互作用する	30年後	高松モデルが全国展開される。	離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。	循環型関係人口モデルの確立
問題1	問題2	問題3	各時期の目標																		
県内外就職離れの若者が高松と関わる機会が少ない	若者が高松から離れた後、継続的に繋がる仕組みが少ない	関係人口が定着・発展しない	関係人口について認識を広げる																		
10年後 このロードマップを 進め10年後は この重点政策を やると考える	リモート型インターン制度が確立し、県外大学卒生の継続的参画が形成される。	卒業後やインターン終了後もオンラインを中心とした関係維持制度が定着する。	各制度の確立																		
20年後	学生期から高松と関わるのが一般的な選択となる。	県外在住者が継続的に地域経済活動や副業に参加する層が拡大する。	各制度が相互作用する																		
30年後	高松モデルが全国展開される。	離れてもつながり続けられる仕組みが世代を超えて継承される。	循環型関係人口モデルの確立																		

★最も見たい未来(理想のまち)の実現★

未来自治体全国大会2026

未来自治体
全国大会2026

■未来自治体全国大会2026 優勝【チーム LINK LAB】 プラン4-4

エリア	チーム名	
香川	LINK LAB	
予算 ※新しい収金を作る、クラウドファンディングなど、収入の増加策は禁止です。(参照:テキストブックP94-114)		
重点政策1:600万円		
根拠	企業課題登録システム整備 150万円 マッチング管理システム運用 200万円 企業受入支援(マニュアル作成・相談窓口) 100万円 大学連携・学生募集広報 100万円 デジタルスキル証明書発行システム 50万円	
重点政策2:400万円)		
根拠	コミュニティ運営(Slack等) 80万円 外部社員制度管理 120万円 副業案件マッチング管理 120万円 関係人ロスコア管理システム 50万円 オンライン交流イベント 30万円	
重点政策3:260万円		
根拠	学生運営コミュニティ支援 100万円 若者プロジェクト補助 80万円 コミュニティ報 50万円 ネットワーク運営費 30万円	
重点政策3つの総予算:1260万円		
変更する歳出項目	いくら変更するか	変更する方法
・デジタル田園都市国家構想 交付金 ・地域店力向上のための市町等 総合交付金などの補助金を 想定	・630万円 ・400万円	既存事業の統合・重複事業の整理、民間委託の効率化により財源を確保する。 ・YOKKE高松などの既存事業と統合
・既存関係人口事業分の再分 配 ・観光、PR事業などのデジタ ル化 ・イベント関連委託費の見直し ・若者施策関連事業の再編	・400万円 ・230万円 300万円 ・330万円	・紙媒体パンフレット削減 ・単発イベント縮小 ・若者支援事業を統合

エリア	チーム名
香川	LINK LAB
予算による影響と対応 参照: テキストブックP94-114	
予算変更によって起こる悪影響 (誰がどのような不利益を被るか)	
① 既存の関係人口イベント参加者 → イベント数や規模が縮小する可能性がある。	
② 地域団体(補助金利用団体) → 補助金の再配分により、従来の支援額が減少する可能性がある。	
悪影響への対応策 (不利益を被る個人・世帯・団体・法人への対応策)	
① 既存イベント縮小への対策 → 単独開催を減らし、既存のイベントと統合することで効率化を図る。	
② 地域団体への対策 → 単純な補助金削減ではなく、若者との連携事業を行う団体には優先的に支援する仕組みへ転換する。	

未来自治体

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

14都市、計24回開催

	参加自治体	開催期間	参加者
未来流山市2012	千葉県 流山市	2012年4月7日 ～4月22日	50名
未来奈良市2012	奈良県 奈良市	2012年8月26日 ～11月18日	45名
未来鎌倉市2012	神奈川県 鎌倉市	2012年11月3日 ～12月15日	63名
未来仙台市2012	宮城県 仙台市	2012年11月11日 ～12月16日	40名
未来仙台市2013	宮城県 仙台市	2013年6月2日 ～7月14日	46名
未来仙台市2014	宮城県 仙台市	2013年7月19日 ～終了未定	40名
未来松坂市2013	三重県 松坂市	2013年10月12日 ～12月15日	49名
未来松阪市2014	三重県 松阪市	2014年8月9日 ～10月12日	47名
未来茅ヶ崎市2014	神奈川県 茅ヶ崎市	2014年7月12日 ～8月31日	42名
未来松坂市2015	三重県 松坂市	2015年10月10日 ～12月19日	45名
未来茅ヶ崎市2015	神奈川県 茅ヶ崎市	2015年12月13日 ～2016年3月5日	49名
未来氷見市2015	富山県 氷見市	2016年1月16日 ～2016年3月21日	44名
未来石巻市2016	宮城県 石巻市	2016年7月23日 ～2016年9月25日	32名
未来泉佐野市2017	大阪府 泉佐野市	2017年2月7日 ～2017年3月27日	26名
未来石巻市2017	宮城県 石巻市	2017年7月22日 ～10月29日	80名
未来高松市2017	香川県 高松市	2017年8月20日 ～11月5日	41名
未来茅ヶ崎市2017	神奈川県 茅ヶ崎市	2017年9月10日 ～11月12日	46名
未来湖南市2017	滋賀県 湖南市	2017年9月17日 ～11月19日	42名
未来茅ヶ崎市2018	神奈川県 茅ヶ崎市	2018年9月8日 ～11月11日	34名
未来茨木市2018	大阪府 茨木市	2018年9月24日 ～11月25日	31名
未来木更津市2019	千葉県 木更津市	2019年7月7日 ～9月28日	53名
未来浜松市2019	静岡県 浜松市	2019年8月3日 ～10月5日	51名
未来甲賀市2022	滋賀県 甲賀市	2022年9月14日 ～11月19日	51名
未来甲賀市2023	滋賀県 甲賀市	2023年8月5日 ～10月14日	17名

自治体リーダーシミュレーション

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

8都市、計8回開催

	参加自治体	開催期間	参加者	大会の様子
習志野市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 習志野市	2013年 3月30日	23名	
笠間市 自治体リーダー シミュレーション	茨城県 笠間市	2013年 8月17日	23名	
鎌倉市 自治体リーダー シミュレーション	神奈川県 鎌倉市	2013年 9月22日	21名	
稲城市 自治体リーダー シミュレーション	東京都 稲城市	2013年 9月27日	25名 (自治体職員のみ)	
上越市 自治体リーダー シミュレーション	新潟県 上越市	2013年 12月8日	28名	
成田市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 成田市	2013年 3月30日	20名	
浦安市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 浦安市	2013年 10月5日	20名	
富山県 自治体リーダー シミュレーション	富山県	2015年 3月1日	48名	

その他の事業・実績など

メディア掲載実績一覧

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

2025年

12月15日【熊本日日新聞】企業合同説明会の様子が掲載されました

2026年

2月2日【南日本新聞】鹿児島支部代表のコメントが掲載されました

2月3日【毎日新聞】衆議院議員選挙「投票所はあっちプロジェクト長崎」の準備の様子が掲載されました

2月6日【BS大分放送】大分支部の活動の様子が放映されました

2月6日【TSSテレビ新広島】衆議院議員選挙「投票所はあっちプロジェクト広島」の様子が掲載されました

2月6日【宮崎日日新聞】衆議院議員選挙「投票所はあっちプロジェクト宮崎」の準備の様子が掲載されました

2月6日【宮崎放送】宮崎支部の衆議院議員選挙投票啓発の様子が放映されました

2月6日【奈良新聞】高校で実施した出前授業の様子が掲載されました

2月7日【tbc東北放送】高校で実施した出前授業の様子が放映されました

2月9日【朝日新聞】宮城県の高校で実施した出前授業の様子が掲載されました

2月9日【毎日新聞】支部スタッフのコメントが掲載されました

3月17日【宮崎日日新聞】「未来自治体全国大会2026宮崎決勝大会」の様子が掲載されました

4月13日【京都新聞】「未来自治体全国大会2026京都決勝大会」の様子が掲載されました

4月13日【読売新聞】宮崎の「最終報告会」の様子が掲載されました

ご協賛企業一覧

株式会社アクティブアンドカンパニー

オタフクソース株式会社中国支店

株式会社オネスティ

株式会社kakki

Cafe BARU

キッチンカーTAKORU

ZONE STUDENT BOOSTER運営事務局(運営:株式会社マイナビ)

株式会社武生製麺

株式会社ファーストロフィー

モンスターエナジージャパン合同会社

(50音順)

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

書籍関連

【市議会議員になる方法】

著者：佐藤大吾

協力：NPO法人ドットジェイビー

発行：ダイヤモンド社

地方議員は職業のひとつ。

選挙は就職活動だ！

社会企業家を目指す人、地元をよくしたい人、
『議員』という選択肢だってある！

地域から日本を変える仕事に就く！

第1章 市議会議員になるのは無謀な挑戦じゃない！

第2章 出馬を決意したらさっそく活動開始！

第3章 いよいよ決戦の時！選挙戦スタート！

第4章 若手議員・市長にインタビュー

選挙と議員生活の実際



【(当)タネダミキオでございます。】 [全3巻]

漫画：塚脇永久

監修協力：佐藤大吾

発行：株式会社新潮社

色々悩んでる読者の皆様(25歳以上)へ

次の選択肢は「政治家」でいいんじゃない?!

カネなし、学歴なし、コネなし。

世間と自分に苛立ちと不満ばかりを持つ青年が

成り行き上イキナリ選挙に立候補!?

この漫画を読めば、次の選挙に出たくなる。

そして自分と世界を変えたいくなる!!

ドットジェイビーは本作品に監修協力しています。



【オモシロキコトモナキ世ヲオモシロク】

プロデュース：高橋歩&佐藤大吾

監修：NPO法人ドットジェイビー

発行・発売：サンクチュアリ出版

○リアル&スピリッツ。

政治のリアルな現状を、ビジュアルと言葉で伝えます。

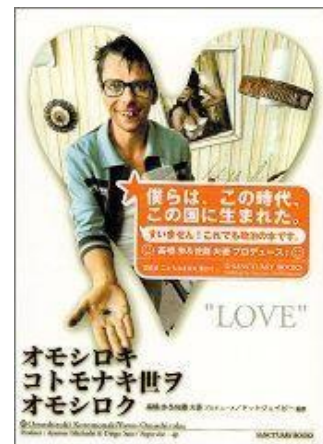
○未来の日本へのメッセージ。

20代、30代前半の現役バリバリで活躍している政治家たちを紹介。

○「カネなし、コネなし、20代、地方選挙、無所属、初挑戦」のための選挙徹底マニュアル。

○コミックガイド。

厳選したイラストと名セリフを魅せる最強のコミックガイド。





若者と政治を結ぶ
NPO法人ドットジェイピー

URL : <https://www.dot-jp.or.jp>